

授業科目名	フィールド科学実習Ⅰ (PracticeⅠ for Field Science)				
授業担当者	生産環境科学課程教員、岐阜フィールド科学教育研究センター教員（応用生物科学部）				
開講時期	1年前学期	単位数	1	授業形態	実習
授業概要	生物資源の管理・自然環境の取り扱い方やそれらと地域社会との関わりについての基礎知識を養うために、応用生物科学部附属の岐阜フィールド科学教育研究センター位山演習林周辺の自然環境を主な材料として、野外で生物の観察や見学会を行う。人間社会・環境・生物の諸要素についての学習を通じて、フィールド科学の方法論を紹介し、現場で考えるフィールドワークの能力を身につける。到達目標は、生物資源、自然環境、地域社会を取り扱う際に注意しなければならないことを、一つでも実習の中で見つけ出すことである。				
授業内容	1. 原木市場や淡水魚研究所など施設見学を行う。また、夜には生産環境科学に関する小講演会を催す。 2. 教員が設定した各種のテーマを選択し、グループ単位で学習する。テーマには、「自然を測定する」、「溪流を観る」、「空を見る」、「飛騨牛を観る」、「畑の作物地図をつくる」、「山をまっすぐ歩く」、「森を歩く」、「森林を守る」などがある。テーマ別学習の成果について、グループ単位で発表会を行う。 3. 位山演習林での森林巡検、植林を行う。				
授業公開					
その他	評価方法：グループ発表（50％）および課題レポートによる評価（50％） 附属施設等を利用した短期宿泊により集中講義形式で実習を行うので、事前ガイダンスを実施する。宿泊費・食費および交通費の実費を徴収する。課題レポートは、A4サイズ（縦向き）の用紙を用い、横書きとする。タイプ・自筆とも可。 レポート課題：「生物資源、自然環境、地域社会を取り扱う際に注意しなければならないこと」				